

医療事故・紛争対応研究会 第2回 年次カンファレンス 病院改革

透明性確保に向けた職員の意識改革と紛争防止に向けた様々な課題への取り組み-

平成19年12月8日(土) 9:40~18:00 東京大学 安田講堂(東京都文京区本郷7-3-1)

9:40~10:00 ご連絡・ご挨拶

10:00~11:00 基調講演

東大病院の改革 - 医療事故・紛争問題との関係から

演者 東京大学 教授/同医学部附属病院 前病院長 永井良三 座長 九州大学 前総長 杉岡洋一

11:00~12:40 特別講演

次の課題：医療倫理・看護倫理問題への対応 - 治療中止の問題を素材として

座長 東京大学大学院医学系研究科 生命・医学倫理学 特任教授(鳥取環境大学 名誉学長)加藤尚武

特別講演1 倫理指針の策定とその臨床的意義 - がん末期患者に対する治療・看護ガイドラインの策定の可能性

演者 国立保健医療科学院 次長 林謙治

特別講演2 近年始まった、医療倫理・看護倫理に関する院内コンサルテーション制度・臨床倫理委員会制度と法律家から見たそれらの意義

演者 神戸大学大学院法学研究科 教授 丸山英二

13:40~16:10 シンポジウム

真の解決に向けた事故対応(初期対応・事故調査・死因分析)とその今後のあり方

座長 東京女子医科大学病院 病院長 永井厚志

1. 初期対応と院内検証 - 迅速な事実確定・原因究明あってこそその真の解決

演者 東邦大学医療センター大森病院 医療安全管理部 部長 渡邊聖

2. 事故調査

(1) 院内での事故調査 - 患者参加の事故調査と東京女子医大モデルの紹介

演者 事故調査委員会 委員/日本経済新聞社 記者 前村聡

(2) 「病院群」での事故調査 - 群馬県病院局の新たな取り組み

演者 群馬県病院局 病院企画監 末松直美

3. 死因調査

(1) 診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業 - 現状と今後の展望

演者 厚生労働省 医療安全推進室長 佐原康之

(2) 死因究明に関する石川県医師会モデル - 制度の構築経緯とその現在

演者 石川県医師会 副会長 浮田俊彦

16:20~17:50 会員報告

座長 東京大学大学院医学系研究科 医療安全管理室講座 准教授 前田正一

(報告1) 医療事故防止におけるカルテ(医師記録・看護師記録)の院内監査の有用性

(報告2) 裁判で問題となった看護記録の記載内容 - 過去10年間の判例調査と具体例の紹介

(報告3) 判断能力のない患者への対応 代諾者(キーパーソン)とは誰か? - 学説等の動向

(報告4) 医療事故初期対応100選の作成とその意義 注射針の重複使用事例を通して

(報告5) 院長ほか、事務長・看護部長が異状死届出義務違反に問われる可能性はあるか? - 関連裁判例からの考察

(総合司会: NTT東日本関東病院 栗原博之)



後援: 日本医師会、日本歯科医師会、日本看護協会 [日本医師会生涯教育講座3単位認定]

対象職種: 医師・看護師・薬剤師・医療技術者・事務職員・医療安全管理者など 定員: 700人(先着順)

参加費: 非会員5,000円、会員4,000円(当日入会者も同様)、学生3,000円

申込方法: Fax(0120-286-575)・HP(<http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/index.html>)より申込書をお送りください。

連絡先: 医療事故・紛争対応研究会事務局 ・ Fax 0120-286-575 ・ E-mail hsc-group@umin.ac.jp